

■ 学校の共通目標

授業作り	重 点	児童が主体的に学習に取り組み、自分の考えをすすんで表現する力を身に付ける。
環境作り		全校で共通した分かりやすい板書、ICTの効果的な活用の共有を目指す。

■ 学年の取組について

学 年	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から)	目標達成のための取組
1 学 年		<ul style="list-style-type: none"> <li>ひらがな、カタカナ、漢字を正確に書いたり読んだりできるようにする。</li> <li>物語文や説明文の内容の大体をとらえることができるようにする。</li> <li>たしざんやひきざんの計算が正確にできる。</li> <li>量感を感じ取ることができる力を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①筆順や字形の指導の継続</li> <li>②意図的な文を書く機会の導入</li> <li>③積極的な読書活動の取組</li> <li>④数の構成の反復学習</li> <li>⑤学習問題と日常の場面を意図的につなげる機会の確保</li> <li>⑥ICTを活用した練習問題の取組</li> </ul>
2 学 年		<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を読んで内容の大体をとらえ、分かったことや考えたことを友達と伝え合えるようにする。</li> <li>自分の経験や感想を簡単な文章で表現することができるようにする。</li> <li>新出漢字を繰り返し読んだり書いたりすることで定着を図る。</li> <li>たし算、ひき算、かけ算の意味を理解しながら確実に計算することができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①音読カードを活用しての練習</li> <li>②学習用語の掲示と活用</li> <li>③継続的な日記、作文指導</li> <li>④週2回の漢字ミニテスト</li> <li>⑤学習状況の把握と必要に応じた個別指導</li> <li>⑥ICTを活用した練習問題の取組</li> </ul>
3 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを文章で書き表せるようになるために、文章を書くことを習慣付ける手立てが必要である。</li> <li>難しい文章の読み取りができるように、多くの文学的な文章や説明的文章に触れさせることが必要である。</li> <li>問題文や図形から必要な情報を読み取り、立式できるようにする必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを整理して、順序立てながら書けるようにする。</li> <li>多くの文章に触れ、登場人物の気持ちや筆者の主張を読み取れるようにする。</li> <li>文章や図形からたし算やかけ算など課題の解決のための適切な方法を考えさせ、計算に必要な数字を判断する力を付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①読書等の環境整備と読書時間の確保</li> <li>②日記や作文の取組</li> <li>③デジタルドリルの活用</li> <li>④自分の考えや意見を文章化する活動の設定</li> <li>⑤立式する練習</li> <li>⑥基礎的な計算練習</li> </ul>
4 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>記述式の問題に課題があるため、自分の考えを文章で書き表す活動を日頃から行っていく必要がある。</li> <li>文章の読み取りができるように、より多くの語彙を獲得することが必要である。</li> <li>身に付けた知識や技能を活用する力の向上が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを文章に表す力を高める。</li> <li>登場人物の気持ちや筆者の主張を読み取れるように、多くの文章に触れ、語彙を獲得させていく。</li> <li>既習事項を活用して演習問題に取り組み、習熟を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①文型の提示</li> <li>②タブレット端末の活用</li> <li>③読書等の環境整備と読書時間の確保</li> <li>④新出表現や言葉に着目した文章の読解</li> <li>⑤デジタルドリルの活用</li> <li>⑥授業内で演習問題に取り組む時間を確保</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語の「書くこと」については、自分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材文の中心や要旨を把握しながら読む力を</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①段落や場面ごとの小見出しの書き方</li> </ul>

<p><b>5 学 年</b></p>	<p>の考えを論理的に組み立て、表現する力の向上が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>算数においては、既習事項を活用する力の向上が必要である。</li> </ul>	<p>高める。また、並行読書を活用するなどして語彙力の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数量の概念を把握させ、何が問われているのか、単位は何であるか考えさせた上で立式に導く力を高める。</li> </ul>	<p>や要旨の書き出し方の指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>②読書環境の整備</li> <li>③少人数指導における実態に合わせた基礎的な問題と発展的問題の取組</li> <li>④デジタルドリルの活用</li> </ul>
<p><b>6 学 年</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明的文章を正確に読み取り、論理的に理解する力を付ける必要がある。</li> <li>漢字の学習においては、新出漢字の他に既出漢字の定着を図る必要がある。</li> <li>面積・体積において、活用する力の向上が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の構成を理解し、原因や結果に着目して、自分の意見や考えを表現する力を高める。</li> <li>内容理解を深めるために、話し合いの際、話を最後まで聞く力を高める。</li> <li>単位変換や小数と分数の関係など、正確にできる力を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①小見出しや要旨の書き出し</li> <li>②デジタルドリルの活用</li> <li>③ペア学習グループ学習の設定</li> <li>④漢字の学校や家庭学習での取組</li> <li>⑤基礎的な計算練習の取組</li> </ul>